

令和6年3月22日  
国土交通省関東地方整備局  
東京国道事務所

## 国道15号品川駅西口駅前広場の民間事業者公募に向けて マーケットサウンディングを実施します

国道15号品川駅西口駅前広場における施設の整備・管理運営を担う民間事業者の公募に向け、民間事業者の知見、技術、ノウハウ等を広く取り入れるため、事業内容、収益向上策等に関する意見を募集します。

### ○参加資格

国道15号品川駅西口駅前広場の施設の整備・管理運営に関する事業に関心がある民間事業者、団体等の法人（一事業者単体又は複数事業者から構成されるグループによる参加も可能）

### ○マーケットサウンディングの内容

事業内容、新たなモビリティ事業、人流・交通流のデータ活用、収益向上策等に関する意見を募集します。

マーケットサウンディングの実施概要は別紙を参照してください。

### ○スケジュール

参加申込の提出期限	令和6年5月24日（金）17時まで
意見の提出期限	令和6年7月26日（金）17時まで
個別対話（※必要に応じて）	令和6年8月以降

### ○募集の手続き等

実施要項、別紙、各種様式は、東京国道事務所ホームページに掲載します。

#### <発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 東京都庁記者クラブ

#### <問い合わせ先>

関東地方整備局 東京国道事務所

電話：03-3512-9090（代表） E-mail：ktr-toukoku-press@mlit.go.jp

副所長 荒井 昭人（あらい あきひと）（内線205）

交通ターミナル整備課 課長 杉本 宣博（すぎもと のぶひろ）（内線451）

## 1. 目的

国道15号品川駅西口基盤整備は、多様なモビリティのシームレスな乗換を可能とする人が主役の都市交通ターミナルを目指し、道路上空を活用した道・駅・まちをつなぐ国道15号品川駅西口駅前広場(以下、「駅前広場」という。)の整備を進めています。マーケットサウンディング(以下、「本調査」という。)では、駅前広場における施設の整備・管理運営を担う民間事業者の公募に向け、民間事業者の知見、技術、ノウハウ等を広く取り入れるため、事業内容、収益向上策等に関する意見を募集します。本調査結果については、今後予定している事業者公募の技術仕様等を作成する際の基礎的な資料等にします。

## 2. 意見を募集する範囲

国道15号品川駅西口駅前広場の施設の整備・管理運営に関する事業(以下、「本事業」という。)

## 3. 参加資格

本事業に関心がある民間事業者、団体等の法人(一事業者単体又は複数事業者から構成されるグループによる参加も可能)

## 4. 意見を募集する内容

項目	設問
基本情報	・民間事業者等の情報
意見を募集する内容	・事業内容 ・収益向上策 ・新たなモビリティ事業 ・人流・交通流データの活用 ・リスク分担(案) ・民間事業者の公募手続き ・その他

## 5. スケジュール

項目	年月
実施要項等の公表	令和6年3月22日(金)
質問(1回目)の受付期限	令和6年4月19日(金)
参加申込の提出期限	令和6年5月24日(金)
質問(2回目)の受付期限	令和6年6月21日(金)
意見の提出期限	令和6年7月26日(金)
個別対話(※必要に応じて)	令和6年8月以降

## 6. 募集の手続き等

実施要項、別紙、各種様式は東京国道事務所ホームページに掲載

## 7. 連絡先

国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 交通ターミナル整備課  
 住所 〒102-8340 東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎15階  
 電話 03-3512-9165  
 電子メール ktr-toukoku-terminal@mlit.go.jp  
 ホームページ: <https://www.ktr.mlit.go.jp/toukoku/toukoku00396.html>

## ミチウエ & スクエア & 品川

道路上空を活用した道・駅・まちをつなぐ駅前広場の整備を進め、  
多様なモビリティのシームレスな乗換を可能とする人が主役の都市交通ターミナルを目指します。

### ○ ミチウエ

**：階層的かつシームレスな交通結節点**

- 道路【ミチ】の上部空間【ウエ】を活用
- 多様で階層的な交通モードをシームレスにつなぐ(図1)
- 段階的なモビリティネットワークの進化
- 平常時は「交通・交流」の拠点、災害時は「交通・防災」の拠点として機能(図2)



図1 様々な交通モードの接続・乗り換え拠点



図2 災害時緊急輸送バス(呉駅)

### ○ スクエア

**：屋根に守られた駅前空間**

- 新しい「日本の顔」となるシンボリックな空間の創出(図3)
- 歩行者が安心して通行できる空間の創出
- 駅とまちをつなぐ主動線は、アンブレラフリーを兼ね備えた屋根のある快適な空間を創出
- サービス機能を備えた快適に過ごすことができる待合空間を創出
- 周辺開発と連携した賑わい空間を創出(図4)



図3 日本の玄関口の駅前空間(東京駅)



図4 駅まち空間における一体的な都市のイメージ

### ○ 品川

**：品川らしさ=時代のニーズに応える**

- 江戸時代から、交通・情報・人や技術が集まり、時代のニーズに応じてきた「まちの履歴」を継承
- 武蔵野台地の地形や緑を活かした空間づくり
- 脱炭素社会の実現に向けてGX(グリーン・トランスフォーメーション)を推進(図5)
- MaaS、自動運転等の新技術の導入や人流・交通流のデータを活用した人が主役の都市交通ターミナル(図6)



図5 BRTなどの低炭素道路交通システム



図6 自動運転等の新技術



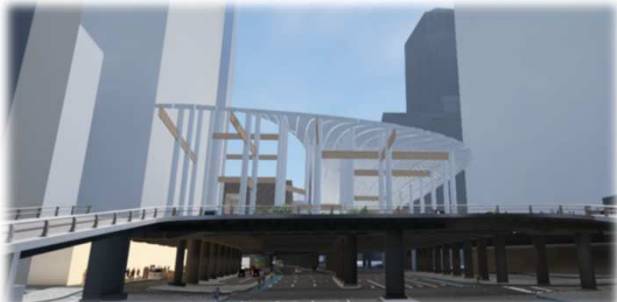
道路上空を活用した道・駅・まちをつなぐ駅前広場の整備を進め、  
多様なモビリティのシームレスな乗換を可能とする人が主役の都市交通ターミナルを目指します。

## ～ ミチウエ & スクエア & 品川 ～

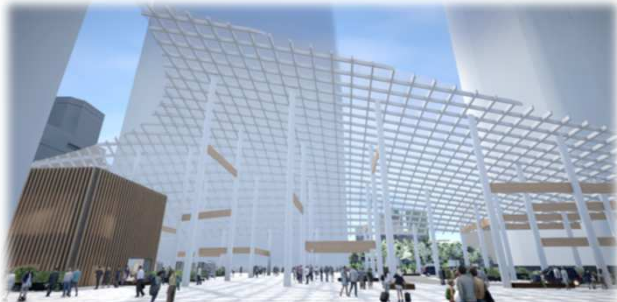
### ミチウエ

#### 階層的かつシームレスな交通結節点

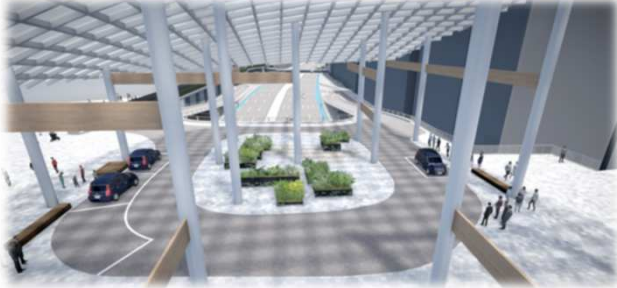
- 道路【ミチ】の上部空間【ウエ】を活用



- 周辺開発と一体的なデッキネットワークを構築



- 鉄道からスムーズな乗り換えが可能な乗降場



至 横浜

JR・京急品川駅  
(北側)

交通広場建屋

乗降場

西口地区  
(3丁目地区)

至 日本橋

施設配置イメージ (デッキ階)

### スクエア

#### 屋根に守られた駅前空間

- 新しい「日本の顔」となるシンボリックな空間



- サービス機能を備えた待合空間 (交通広場建屋)



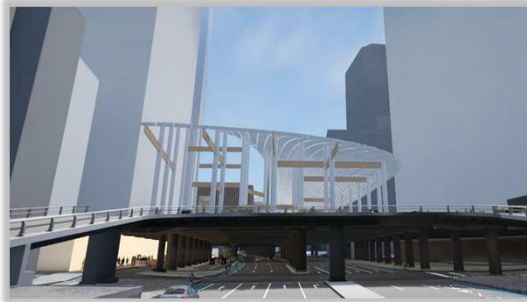
### 品川

#### 品川らしさ = 時代のニーズに応える

- 時代のニーズに応えてきた「まちの履歴」を継承
- 脱炭素社会の実現に向けてGXを推進
- 新技術を導入した人が主役の都市交通ターミナル



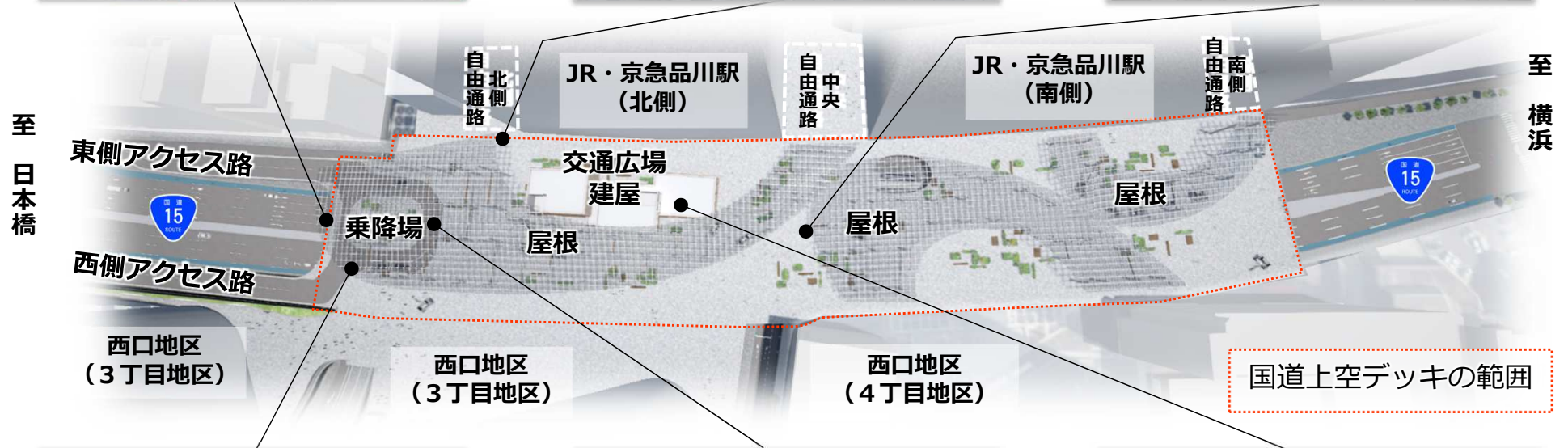
道路 [ミチ] の上部空間 [ウエ] を活用



屋根のある駅とまちをつなぐ主動線



歩行者が安心して通行できる空間



新しい「日本の顔」となる  
シンボリックな空間



鉄道からスムーズに乗り換え可能な乗降場

施設配置イメージ (デッキ階)



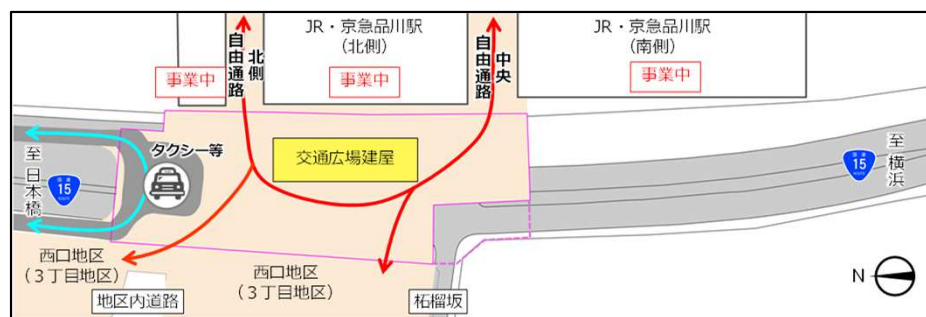
サービス機能を備えた待合空間  
(交通広場建屋)

※必要となる機能を配置したイメージであり、整備内容を決定したものではありません  
※今後の検討及び関係機関との協議調整により変更する場合があります

- 国道上空デッキ（北側）供用段階は、歩行者等のネットワークが構築されます。
- デッキネットワーク概成段階は、新たなモビリティ（乗合型）の高輪ゲートウェイ駅方面や北品川方面へのネットワークが構築されます。
- 品川駅西口関連開発完了段階は、歩行者等や新たなモビリティ（乗合型）のモビリティネットワークが完成します。

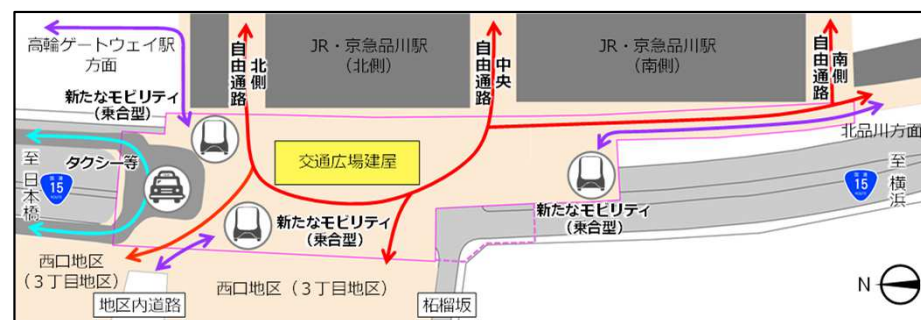
## ① 国道上空デッキ（北側）供用段階（2020年代後半～）

- ・新たなモビリティ（歩行支援）は、高齢者、体の不自由な方などの利用を想定
- ・国道上空デッキ上にタクシー等の乗降場を配置



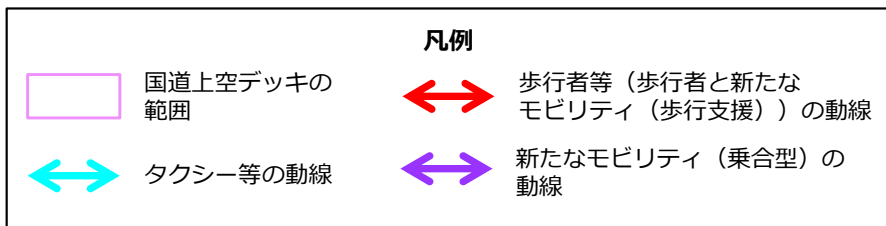
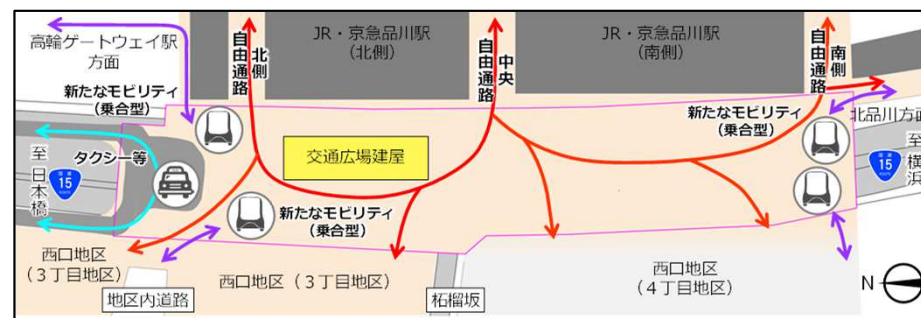
## ② デッキネットワーク概成段階（2030年代後半～）

- ・高輪ゲートウェイ駅方面や北品川方面のモビリティネットワークが構築
- ・新たなモビリティ（乗合型）により高輪ゲートウェイ駅方面や北品川方面への移動を支援



## ③ 品川駅西口関連開発完了段階

- ・品川駅西口のモビリティネットワークが完成



段階的なモビリティネットワーク（デッキ階）

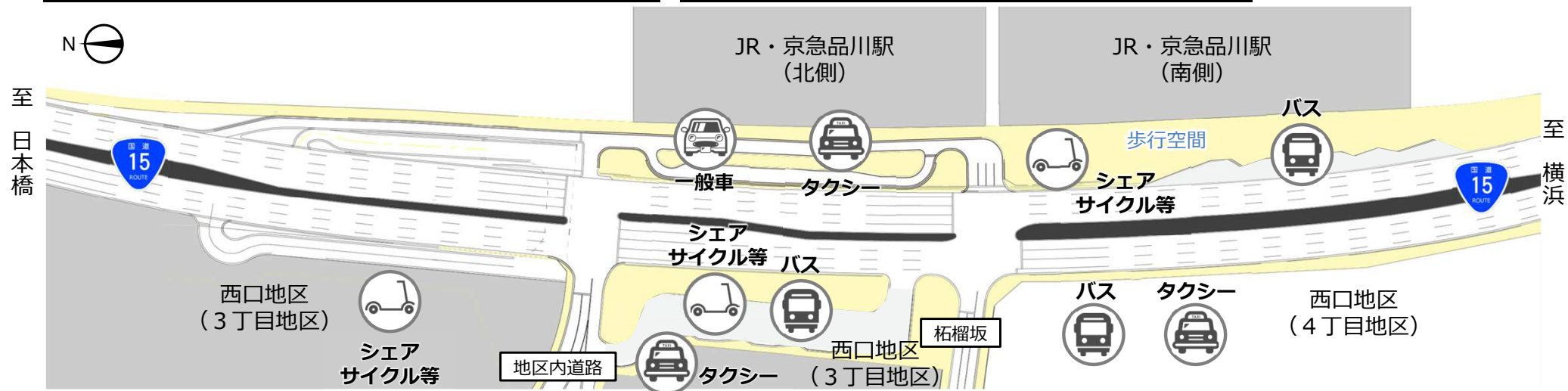
※必要となる機能を配置したイメージであり、整備内容を決定したものではありません  
 ※西口地区（4丁目地区）については、今後の開発計画とあわせて調整が必要  
 ※モビリティ動線、乗降場、歩行者動線等の具体化にあたっては開発計画との調整が必要  
 ※今後の検討及び関係機関との協議調整により変更する場合があります



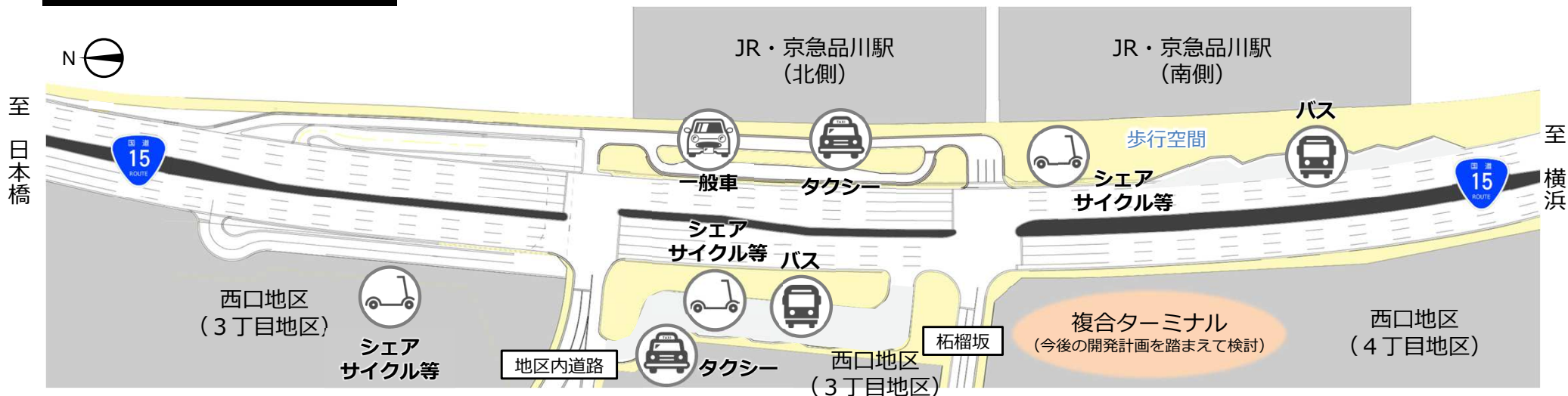
- 利用者の利便性を考慮し、タクシー乗降場、バス乗降場、一般車乗降場、シェアサイクル等の乗降場を配置します。
- 交通モードは周辺開発と連携して配置することを想定しています。

## ① 国道上空デッキ（北側）供用段階（2020年代後半～）

## ② デッキネットワーク概成段階（2030年代後半～）



## ③ 品川駅西口関連開発完了段階



モビリティネットワーク（地上階）

※必要となる機能を配置したイメージであり、整備内容を決定したものではありません  
 ※モビリティ動線、乗降場、歩行者動線等の具体化にあたっては開発計画との調整が必要  
 ※今後の検討及び関係機関との協議調整により変更する場合があります